

令和2年9月8日

(事務担当)

生産流通課 流通支援 G

担 当：藻寄、松井

(直通) 225-1621

(内線) 4670

令和2年度新嘗祭献穀田御抜穂式にいなめさいけんこくでんおんぬきほしきの開催について

令和2年度の新嘗祭献穀田御抜穂式が下記により開催される。

記

	加 賀 地 区	能 登 地 区
御抜穂式 日 時 会 場	令和2年9月12日(土) 午前10時00分～ 白山市井口町 現地ほ場 (別添地図参照)	令和2年9月21日(月・祝) 午前10時00分～ 中能登町東馬場 現地ほ場 (別添地図参照)
献穀者 氏 名	きたむら しんいち 北村 真一	たけもり ゆたか 竹森 裕
献穀田概要 ほ場面積 品 種	954 m ² コシヒカリ	12,500 m ² コシヒカリ
出席者 (予定)	谷 本 知事 車 県議会議員 山 田 白山市長 村 本 白山市議会議員 竹 内 J A白山組合長 他	谷 本 知事 西 田 衆議院議員 近 藤 衆議院議員 岡野定 県議会議員 杉 本 中能登町長 作 間 中能登町議会議員 坂 井 J A能登わかば組合長 他
参 考 (御田植式)	令和2年5月16日(土)	令和2年5月18日(月)

にい なめ さい 新 嘗 祭 について

1. にい なめ さい 新嘗祭とは

新嘗祭とは、11月23日（もと陰暦11月の中の卯の日）に行う宮中行事で、天皇が新米を天地の神に供え、親しくこれを食する祭事

2. 新嘗祭はいつ頃から行われているか

- (1) 毎年実施されるようになったのは、第22代清寧天皇（西暦480年頃）と言われている。（今上天皇126代）
- (2) 明治以前は、山城の国宇治の御領地で生産された米で実施されていた。
- (3) 明治初期から明治24年までは、全国の御領地で生産された米で実施されていた。
- (4) 全国の知事からの請願により、明治25年から各県で生産された米で実施されている。
- (5) 昭和21年に農林省監督が廃止され、現在の宮内庁での対応となった。

3. 献穀米の献納について

- (1) 皇居において、献穀献納式が10月下旬に執り行われる。
- (2) 皇居賢所で行われる献穀献納式に出席できるのは献穀者夫妻と各市町代表者及び作柄奏上者とその随行者
- (3) 全国各都道府県よりの献穀内容は、
 - 精米のみ2ヶ所の県…石川県、北海道、福島県（3道県）
 - 精米のみ1ヶ所の県…富山県、愛知県、大阪府、沖縄県等（18府県）
 - 精米と精粟各1ヶ所の県…新潟県、福井県、東京都、京都府等（26都府県）※ 県数は、平成30年度
- (4) 献納する量は、精米は1升、精粟は5合が原則であるが、石川県は精米を2カ所なので献穀者一人5合ずつ（合計1升）である。

加賀地区 献穀田御抜穂式会場（白山市井口町）

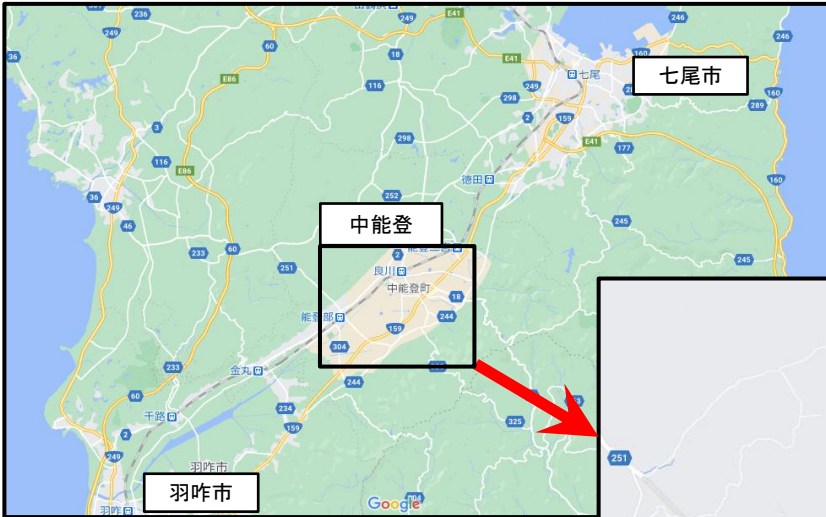


新嘗祭 献穀田
白山市井口町は5番1
面積 954 m²

拡大図



能登地区 献穀田御拔穂式会場（中能登町東馬場）



新嘗祭 献穀田
中能登町東馬場20・21
面積 12,500 m²

